

報道関係各位

2018年11月26日
一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント協会

～建築・芸術など大丸有地区の魅力を発見するツアーやイベントを開催～

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 設立30周年記念

OPEN CITY MARUNOUCHI

大丸有エリアの文化発信拠点の一つである帝国劇場の裏側やオープン前の東京會館新館

など普段は『入れない』『見られない』『知られていない』場所を巡る大人の社会科見学！

2018年12月7日(金)～16日(日)



東京會館オープン前探検



第一生命ギャラリー & 三菱一号館解説ツアー



帝国劇場探検

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体*の一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会(以下 大丸有協議会)は、設立 30 周年を記念し、NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会(以下 リガーレ)と共同主催で、大手町・丸の内・有楽町地区(以下 大丸有地区)内の普段は入れない場所や見られない・知られていない場所を巡る「OPEN CITY MARUNOUCHI」を12月7日(金)～16日(日)に開催します。

本イベントは、本年5月に第1回、10月に第2回を開催いたしましたが、大人気につき追加開催が決定。今回は、2019年オープンの東京會館新館をオープン前に見学する『東京會館オープン前探検』や、大丸有エリアの文化発信拠点の一つである帝国劇場の裏側などを見学する『帝国劇場探検』、1972年から丸の内仲通りに展示されており、この秋展示作品が入れ替わった彫刻の森美術館監修のアートスポットを解説付きで巡る『丸の内仲通りアートツアー』、開催中の平子雄一展「Leftover」のご本人によるアート作品解説や、三菱一号館の建物などについてご紹介する『第一生命ギャラリー & 三菱一号館解説ツアー』などを実施します。

大丸有協議会は、都市空間の適切かつ効率的な開発・活用などを通じたまちづくりを目的に1988年7月に前身となる大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会として設立。行政と共に策定したまちづくりガイドラインを基に、サステナブルで安全・安心なまちづくりを展開してまいりました。又、リガーレやエコツェリア(*)と共に、打ち水や夏祭りなどのイベントを実施するなど賑わいあふれるエリアマネジメント活動に取り組んでまいりました。こうした取り組みをさらに進め、今後も魅力ある「大丸有地区」を目指し活動してまいります。

本イベントに関しまして当日ご取材可能なツアーもございます。ご取材をご希望の場合、下記窓口まで事前にご連絡をお願いいたします。

※一般参加者もツアーに参加いたします。ご取材の際は事前に必ずご連絡をお願いいたします。※取材可能なツアーについては次頁以降をご確認ください。
※ツアーによってはスペースに限りがある場所に行くことから、天候やご取材の申込み状況によっては、取材・撮影等ができる場所を限らせて頂く場合がございます。
※ツアー内容については変更になる場合がございます。 ※画像はすべてイメージです ※金額はすべて税込みです。

＜本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先＞

大手町・丸の内・有楽町地区街づくりPR事務局 共同PR(株) PRアカウント本部 9部 担当：前山・高橋
TEL：03-3571-5238 FAX：03-3571-5380 E-mail：tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp

本資料は本日付で国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会・東京都庁記者クラブへお届けしています。

(*)「一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会(大丸有協議会)、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会(リガーレ) 一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会(エコツェリア)」の3団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。

イベント概要

- 【名称】 OPEN CITY MARUNOUCHI
- 【内容】 大丸有地区の普段は『入れない』場所の他、『見られない』『知られていない』場所などを巡るツアーやイベントを実施します。
- 【開催日時】 12月7日(金)・13日(木)・14日(金)・15日(土)・16日(日)
- 【開催場所】 大丸有地区(大手町・丸の内・有楽町エリア)
- 【主催】 OPEN CITY MARUNOUCHI 実行委員会
(一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会・
NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会 が参加)
- 【協力】 (株)東京會館/東宝(株)/平子 雄一氏/第一生命保険(株)/三菱一号館美術館/
(公財)彫刻の森芸術文化財団
- 【後援】 千代田区、(一社)千代田区観光協会、(認定 NPO)日本都市計画家協会、
(公社)日本都市計画学会、(一社)大丸有環境共生型まちづくり推進協会
- 【Website】 <http://opencitymarunouchi.jp/>

コンテンツ概要

東京會館オープン前探検

建築

- 【開催日時】 12月15日(土)/12月16日(日) 10:00~11:00
- 【内容】 2019年1月8日(火)にオープンする東京會館新館を一足早くご覧いただけます。普段は入れない宴会場や貴賓室などの見学や、創業時の初代本館や二代目本館から引き継いでいる建物の意匠をご覧いただける他、約100年の歴史を含む三代目本館誕生のエピソードなど、ここでしか聞けないとっておきの裏話などもお楽しみください。
- 【見学場所】 エントランス&1F、2F、3F、7F、B1Fの5フロア/ロビー/レストランとショップ
大宴会場/貴賓室
- 【定員】 各回15名
- 【参加費】 500円

帝国劇場探検

当日取材可

建築

- 【開催日時】 12月13日(木) 13:30~15:00
- 【内容】 大丸有エリアの文化発信拠点の一つである帝国劇場の裏側を探検します。
- 【見学場所】 劇場客席/舞台下(奈落)/1階~2階の美術作品
- 【定員】 20名
- 【参加費】 500円
※一部エリアでのみ写真撮影可能です。



第一生命ギャラリー&三菱一号館解説ツアー

当日取材可

芸術

- 【開催日時】 12月7日(金) 16:00~17:30
- 【内容】 第一生命ギャラリーで開催中の平子雄一展「Leftover」のご本人によるアート作品解説と、ふだんは入ることのできない三菱一号館の地下などを巡り、建物の魅力をご紹介します。
- 【見学場所】 第一生命ギャラリー 平子雄一展「Leftover」/一号館広場/
三菱一号館美術館歴史資料室および非公開箇所
- 【定員】 15名
- 【参加費】 500円
※一部エリアにて写真撮影をご遠慮いただいております。



丸の内仲通りアートツアー

当日取材可

芸術

【開催日時】 12月14日（金）18:30～20:00

12月15日（土）11:00～12:30

【内 容】 1972年からはじまった「丸の内ストリートギャラリー」は、丸の内仲通りに彫刻の森美術館監修の作品を展示し、緑とアートが一体となった空間を演出しています。2018年秋、作品が新しくなり、夜はライトアップで美しく彩られます。本ツアーでは彫刻の森美術館の職員による解説を聞きながらまちを歩きます。

【見学場所】 丸の内仲通り沿いストリートギャラリー作品

【定 員】 各回 20名

【参加費】 500円



©Izumi Kato

【参考】一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町 地区まちづくり協議会 設立 30周年について

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3団体の一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（以下 大丸有協議会）は、1988年7月に大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会として設立。都市空間の適切かつ効率的な開発・利活用などを通じた街づくりを目的に、策定したまちづくりガイドラインを基に、これまで都市空間のインフラ整備や維持管理、サステナブルで安心安全で災害に強いまちづくりを実施する他、様々なイベントを実施し、公民協調による街づくりを実施してまいりました。



1995年の大丸有地区



2016年の大丸有地区



丸の内仲通りの比較（整備前・整備後）

★大丸有地区の数字

建築棟数	約 100 棟
事業所数	約 4,300 事業所
就業人口	約 28 万人

◆当地区の歴史と 30 年の歩み

江戸時代、江戸城を中心とした諸大名・旗本のための武家地だった当地区は、明治維新後に「東京市区改正設計」により経済地区として整備され 1890 年には陸軍省用地となっていた土地が民間に払い下げられ日本初のオフィス街の整備がスタート。当時のビル街はその西欧風のたたずまいから「一丁倫敦（ロンドン）」と呼ばれました。1914 年には東京駅が完成し、それ以降大型オフィスビルによる街並みは「一丁紐育（ニューヨーク）」と呼ばれました。

～協議会の発足～

1970～80 年代、企業のグローバル化が進展し国内外の企業の東京進出が活発化したことで、オフィス不足や老朽化、就業環境の改善などが課題となり、地権者間で一体的な再開発の機運が高まりました。東京駅周辺再開発誘導地区指定（1986 年）、千代田区まちづくり方針（1987 年）の政策を踏まえ、1988 年 7 月 20 日に大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会として大丸有協議会は発足しました。

～にぎわいの創出へ～

その後、地権者間の検討を経て 1994 年に再開発の指針となる 7 つの街づくりの理念「大手町・丸の内・有楽町地区街づくり基本協定」を締結し、1996 年には、行政等と共に大丸有地区の将来像を議論・検討する大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり懇談会が発足。2002 年には街づくりのハードとともに街の交流機能の強化、都市観光としての魅力づくりなどのソフト面を含めたまちづくり（エリアマネジメント）の重要性が高まり、NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）が設立されました。これまで大丸有協議会と協調してさまざまなイベントやツアーガイド、コミュニティバスの運行支援など交流機会の創出活動を実施してまいりました。

2013 年には、ユニークベニューを活用したトライアルイベントを三菱一号館美術館にて開催、2014 年から道路上でオープンカフェ等を催した「公的空間活用モデル事業」を実施。外部団体の積極的な活用を呼び掛けるための「道路空間活用のご案内」の作成や、国際会議の誘致を目的に地区の MICE 関係団体が連携する DMO 東京丸の内からの情報発信など、都心型 MICE 等に対応した都市環境整備を進めています。

